

# 2024（令和6）年度 留学ガイドブック



駒澤大学  
国際センター事務室



# —目次—

1. 留学概要	P4~
①正規留学（長期留学）について	P6~
• 交換留学	P6~
• 認定校留学	P12~
• 外部団体（留学エージェント）を通じて 留学する場合について	P14
• 国際センター窓口について	P15
• 留学に役立つ各種リンク	P15
②短期語学セミナーについて	P16~
③その他の留学について	P20~
2. 留学のための準備として	P22~
3. 英語力アップのための取り組み	P24~
• 留学に必要な各種語学試験について	P24
• 語学力アップのための学内講座について	P25
4. その他国際交流活動について	P27

## 1. 留学概要

留学とひとことで言っても、様々な種類があり、自分の留学目的や、卒業後のことなど考えながら計画をしていく必要があります。本誌を読んで留学への理解を深めたうえ、留学にチャレンジしてみてください。

### 1. 交換留学（協定校への留学）

大学の代表として、本学が協定を結ぶ協定校へ留学をする制度。

学部の専門科目を修めるための留学です。

- ①留学先の学費は免除（＝金銭的負担が一番少ない）、駒澤大学の学費は8割減免
- ②休学の必要がなく、計画的に履修をすれば4年間での卒業も可能
- ③国際センターを通して手続きをするため、学生の負担が少ない
- ④学内の選考試験に合格することが必要
- ⑤留学期間は原則1年間



### 2. 認定校留学（自身で留学先を探し、自費で行う留学）

自分で留学先を探し、留学する制度。

交換留学と同じく、学部の専門科目を修めるための留学です。

- ①留学先の学費は自費となる、駒澤大学の学費は8割減免
- ②休学の必要がなく、計画的に履修をすれば4年間での卒業も可能
- ③学生自身で留学手続きを進める（留学のエージェント等を介する場合有り）
- ④学内の選考試験はなし、各大学の出願要件をクリアすれば留学可能  
（但し学部での派遣可否の事前審議あり）
- ⑤留学期間は1年間もしくは半年間



### 3. 短期語学セミナー（語学研修）

夏季・春季の長期休みを使って行う約1か月程度の団体語学研修です。

- ①参加費用は自費
- ②休暇期間に行うため、履修に支障をきたすことはない
- ③出願要件などはない（応募者多数の場合は選抜試験を実施する場合あり）
- ④留学や、海外へ挑戦するきっかけ作りとしてもお勧め
- ⑤期間は3週間～1か月程度（セミナーにより異なる）



### 4. 語学留学（休学をして行う語学学校への留学）

語学力をつけるため、語学学校等へ留学する制度です。

- ①留学先の学費は自費、駒澤の学費も減免されない
- ②休学が必要なため、卒業時期が延びてしまう

\*GMS学部所属の方は休学せずに留学できる場合があるため、事前に学部事務室へ確認してください。

- ③出願要件などはない、もしくは正規留学より条件が優しい場合が多い

正規留学は、出願から実際に出発するまでに、**最低半年～1年程度**はかかってしまいます。また、留学時期が遅くなればなるほど、その分履修計画にも影響が出やすくなります。

留学を視野に入れている人は、できる限り早く留学について情報を集め、早めに相談や手続きを始めることをお勧めいたします。

⇒ 次ページ以降で、各留学制度の詳細を紹介していきます。

## ① 正規留学（長期留学）について

### 1. 交換留学（協定校への留学）

交換留学とは、本学と協定を締結している海外の大学（協定校）に、交換留学生として1年間留学する制度です。この留学期間は本学での在学期間とみなされるため、休学せずに留学が可能です。また修得した単位は、各学部教授会の認定により、卒業に必要な単位に算入することができます。

交換留学生となるためには、各大学の定める出願基準を満たした上で、学内選抜試験を受ける必要があります。出願に際しては、各募集期間の約1か月前から掲示・配布される「募集要項」を熟読し、決められた期間内に、所定の書類を、国際センター事務室へ提出してください。

#### ■ 制度概要

留学期間	1年間 春派遣：2・3月出発～翌10～12月帰国 秋派遣：8・9月出発～翌5～7月帰国
目的	1年間の正規留学（専門科目を履修） *語学を学ぶ留学ではなく、現地の大学の学部に所属し、専門科目を履修する留学となります。
形態	本学代表として、協定校に派遣
募集/申請	学内募集 年2回：5月（翌年春派遣）、1月（翌年度秋派遣）
学内選考	あり 【書類審査、筆記試験（非英語圏のみ）、面接】
留学先での授業料	<b>原則免除</b> ※ルイジアナ州立大学アレクサンドリア校のみ授業料が発生します（令和5年度参考：年間USD\$7,000）
本学授業料（※1）	8割減免
その他費用	滞在費等 アジア 90万円～ 欧州 120万円～ アメリカ 170万円～ オーストラリア 220万円～
対象校	協定校
留学中の学籍	在籍年数に含む （休学にならない）
単位認定（※2）	単位認定制度あり
継続履修（※3）	事前の申請により可*
その他	①滞在方法は原則として派遣先が斡旋する察になります ②本学指定の保険に加入すること

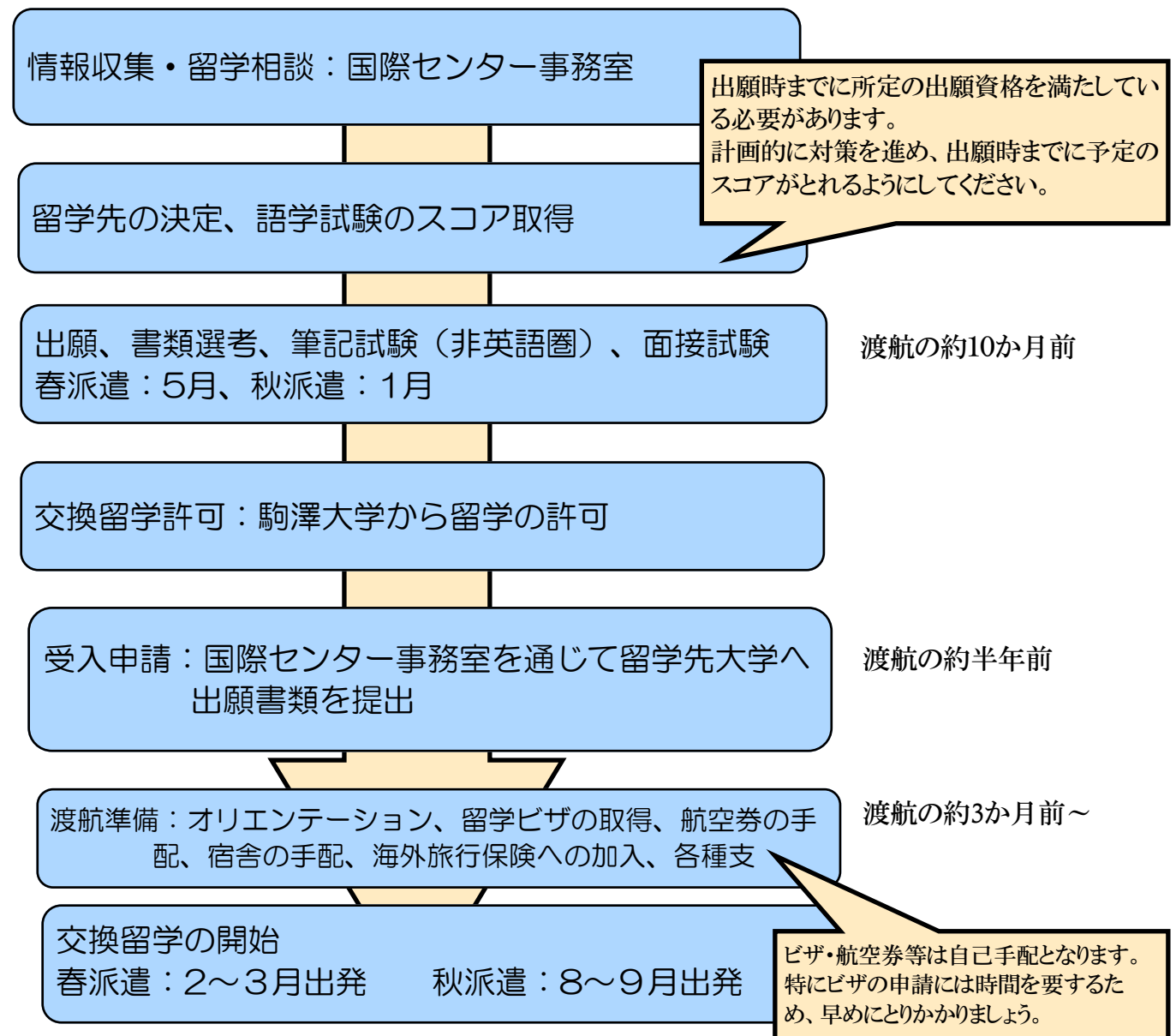
### 【補足事項】

※1 交換留学は、休学をせず留学ができる分、留学中も本学への学費の納入が必要となります。但し、留学中の生活費の負担等鑑みて、通常の学費より8割分減免としています。詳細な減免額は学年や学部等によって異なりますので、事前に財務部学費係（03-3418-9076）でご確認ください。

※2 留学先で修得した単位は、学部教授会の認定により、卒業必要単位として換算することが可能です。但し、履修内容等によっては認定できない科目もありますのでご注意ください。認定単位数は留学終了後、審査によって決定されるため、事前にお知らせすることはできません。留学前から計画的に単位を修得しておくことが大切です。

※3 継続履修とは、秋学期から1年間留学に派遣される場合、派遣年度の前期に履修していた通年科目を、帰国後の後期に継続的に履修できるようにする制度です。事前の申請が必要となります。

## ■交換留学までの流れ



## ■協定校一覧

春派遣、秋派遣の年2回派遣を行っており、それぞれ派遣先大学が異なります。出願要件や募集人員は変更の可能性がありますので、必ず最新の「出願要項」を確認し、出願手続きを行ってください。

協定校一覧はこちらからも見られます。



5月に募集を行う大学（翌年度4月派遣）

大学名	人員	派遣時期	出願資格	IELTS <sup>TM</sup> スコア
				TOEFL iBT <sup>®</sup> スコア
グリフィス大学 (オーストラリア)	2人	令和7年2月 ～		IELTS <sup>TM</sup> 6.0 (各セクション5.5) 以上。
				TOEFL iBT <sup>®</sup> 71点以上 (ライティングセクション19点以上、他各セクション17点以上)
東国大学校 (大韓民国 ソウル)	2人	令和7年2月 ～		ハングル能力検定3級または韓国語能力検定中級(3-4)を取得している者、もしくはそれと同等の語学力を有する者(要筆記・面接) ※ただし、留学開始までに「ハングル能力検定準2級」を取得できるよう努力すること。

※ 年間を通じて定員を設定している大学（義守大学・慶尚大学校）については、年によって募集を行う時期が変動します。最新の情報については、出願要項でご確認ください。

※ 本一覧中の協定校以外に、大学院博士後期課程の学生を対象とした北京大学歴史学系（中国 北京・1人）への派遣交換留学制度がありますが、募集、選考試験および派遣の時期についてはお問い合わせください。

### 【共通の出願要件】

(1) 本学の修得単位等

- ①学部学生は、令和6(2024)年4月1日において大学に1年以上在学し、かつ、大学進級規程第2条に定める単位を修得見込みの者および修得している者
- ②修士課程の学生は、令和6(2024)年4月1日において本大学院に1年以上在学し、かつ10単位以上の単位を修得見込みの者および修得している者
- ③博士後期課程の学生は、本学大学院博士後期課程に1年以上在学している者

(2) 心身ともに健康で、異文化に柔軟に適應できる者

(3) 休学中でない者

(4) 私費留学生（「留学」ビザ）でない者

(5) 留学終了後、本学での学業を継続し、学位の取得又は卒業する者

※その他の外国人の方は、国際センター事務室に必ずお問い合わせください。

※卒業（修了）年次生で、卒業（修了）に必要な単位を修得済みの場合は、出願できません。

※保証人の許可を得ていること。

★ 掲載されている出願資格や募集人員は、令和6年3月現在のものです。条件等については、今後変更になる可能性がありますので、最終的には最新の「募集要項」を必ず確認してください。



## ■メモ欄

## 1月に募集を行う大学（翌年度9月派遣）

大学名	人員	派遣時期	出願資格	IELTS™スコア
				TOEFL iBT®スコア
アーカンソー工芸大学（ATU） （アメリカ ラッセルビル）	4人	令和7年8月～	IELTS™ 5.5以上 ※かつ出願時GPA2.0以上	TOEFL iBT® 61点以上 ※かつ出願時GPA2.0以上
カリフォルニア州立大学 ロサンゼルス校（CSULA） （アメリカ ロサンゼルス）	2人	※募集停止中	IELTS™ 5.5以上 ※かつ出願時GPA2.5以上	TOEFL iBT® 61点以上 ※かつ出願時GPA2.5以上
ルイジアナ州立大学 アレクサンドリア校（LSUA） （アメリカ アレクサンドリア）	5人	令和7年8月～	IELTS™ 5.5以上 ※かつ出願時GPA2.5以上	TOEFL iBT® 61点以上 ※かつ出願時GPA2.5以上
淡江大学 （台湾 台北）	2人	令和7年9月～	「中国語検定試験3級」もしくは「HSK4級」相当またはそれ以上の中国語力を有する者（要筆記・面接）	
義守大学 （台湾 高雄）	2人	令和7年9月～	※中国語で授業が行われている学部に留学する場合 「中国語検定試験3級」、「HSK4級」、もしくは「TOCFL(A2)」相当または、それ以上の中国語力を有する者（要筆記・面接）	
			※英語で授業が行われている学部に留学する場合 TOEFL® ITP 527点以上、TOEFL® iBT 87点以上、IELTS™ 5.5以上、TOEIC® L&R 650点以上のいずれか	
国立中央大学 （台湾 台北）	1人	令和7年9月～	「中国語検定試験3級」もしくは「HSK4級」相当またはそれ以上の中国語力を有する者（要筆記・面接）※かつ出願時GPA3.0以上	
華東師範大学 （中国 上海）	2人	令和7年9月～	「中国語検定試験3級」もしくは「HSK4級」相当の中国語力を有する者（要筆記・面接）	
慶尚国立大学校 （韓国 慶尚南道）	2人	令和7年9月～	ハングル能力検定3級または韓国語能力検定中級（3-4）を取得している者、もしくはそれと同等の語学力を有する者（要筆記・面接） ※ただし、留学開始までに「ハングル能力検定準2級」を取得できるよう努力すること	
マヒドン大学 ※英語プログラム （タイ バンコク）	1人	令和7年9月～	IELTS™ 6.0以上 ※かつ出願時GPA2.75以上	
			TOEFL iBT® 79点以上 ※かつ出願時GPA2.75以上	
AMU エクス・マルセイユ大学 （フランス エクス・アン・プロヴァンス）	2人	令和7年9月～	「実用フランス語検定試験準2級」相当またはそれ以上フランス語能力を有するもの（要筆記・面接）	
ハンブルグ大学 （ドイツ ハンブルグ） ※派遣先学部は文学部のみ。 文学部以外の学生の出願も可能。	2人	令和7年9月～	「ドイツ語技能検定試験4級」もしくは「Goethe-Zertifikat (ÖSD) A2」相当またはそれ以上のドイツ語能力を有するもの（要筆記・面接）	

大 学 名	人 員	派遣時期	出願資格	IELTS™スコア
				TOEFL iBT®スコア
ラッペンランタ・ラハティ工科大学 LUT (フィンランド ラッペンランタ)	1人	令和7年8月～	IELTS™ 5.5以上 TOEFL iBT® 80点以上 TOEFL PBT® 550点以上 TOEFL ITP® 543点以上 TOEFL iBT® 80点以上 TOEIC®L&R 785点以上 PTEAcademic 54点以上 ケンブリッ シ英語検定 B2	
セントラルランカシャー大学 (イギリス ランカシャー)	2人	令和7年8月～	IELTS™ 6.0以上 (reading, writing, speaking, listening すべて5.5以上)	
			TOEFL®iBT 86以上 (Reading 15, Listening 15, Speaking 18, Writing 22以上)	

★ 掲載されている出願資格や募集人員は、令和6年3月現在のものであります。条件等については、今後変更になる可能性がありますので、最終的には最新の「募集要項」を必ず確認してください。

## 2. 認定校留学（自身で留学先を探し、自費で行う留学）

「認定校留学」とは、外国における、「日本の大学に相当する」高等教育機関に該当する大学の正規の学部で、現在所属している学部の専門科目と同様の科目を履修登録し、単位を修得したうえで、帰国後に本学の学部教授会を通じて本学の単位として認定される留学です。ただし、留学先の決定から申請、諸手続きにいたるまでをすべて自分自身でおこない、留学先の授業料・滞在費等についても、自己負担となります。

留学前に本学の国際センター事務室に認定校留学の申請書類を提出し、所定の手続きをおこない、学部教授会で認定校留学の承認を受ける必要があります。

### ■制度概要

期 間	1年間（または半年）
目 的	1年間の正規留学 （専門科目を履修）
形 態	協定校を除いた「日本の大学に相当する」高等教育機関への留学のうち、本学が認定するもの。 留学先の決定から申請、諸手続き等にいたるまでを、すべて学生本人がおこなう。
申 請	秋出発は4月末、春出発は前年10月末までに 事前エントリーが必要。 その後所定の書類を提出し正式に申請。 （出発の2～3か月前まで） 詳細は認定校留学制度要項参照のこと
学内選考	あり 【教授会における書類審査】
留学先での 授業料	自己負担（300万円～）
本学授業料（※1）	8割減免
その他費用	滞在費等
対象校	任 意
留学中の学籍	在籍年数に含む （休学にならない）
単位認定	単位認定制度あり
継続履修	事前の申請により可
その他	本学指定の保険に加入すること

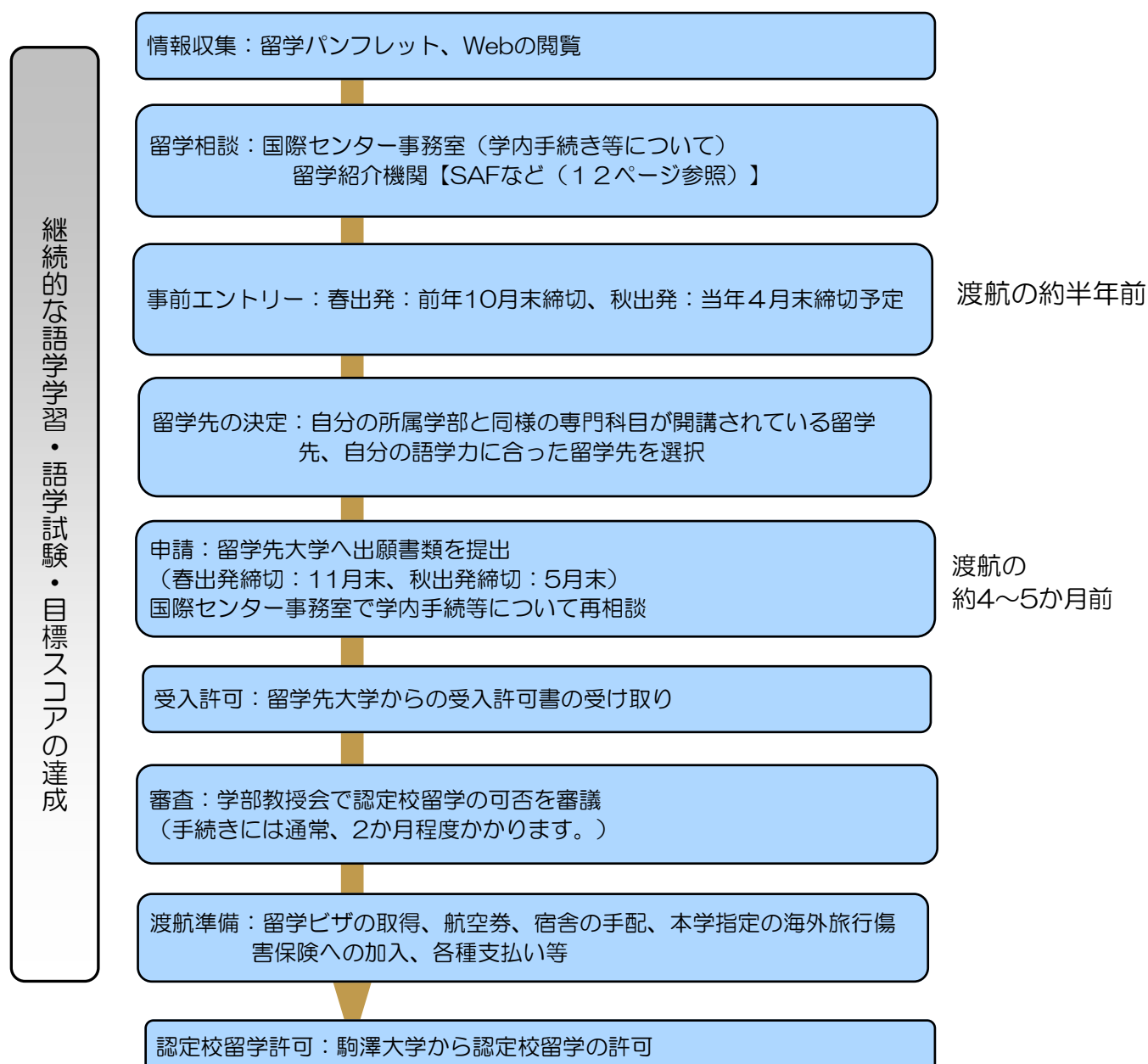
### 【補足事項】

※1 認定校留学も、交換留学と同じく、休学をせず留学ができる分、留学中も本学への学費の納入が必要となります。但し、留学中の生活費の負担等鑑みて、通常の学費より8割分減免としています。詳細な減免額は学年や学部等によって異なりますので、事前に財務部学費係でご確認ください。

※2 留学先で取得した単位は、学部教授会の認定により、卒業必要単位として換算することが可能です。但し、履修内容等によっては認定できない科目もありますのでご注意ください。認定単位数は留学終了後、審査によって決定されるため、事前にお知らせすることはできません。留学前から計画的に単位を取得しておくことが大切です。

※3 継続履修とは、秋学期から1年間留学に派遣される場合、派遣年度の前期に履修していた通年科目を、帰国後の後期に継続的に履修できるようにする制度です。事前の申請が必要となります。

## ■認定校留学までの流れ



## 外部団体（留学エージェント）を通じて留学を計画する場合

認定校留学で留学をする場合、全て自己手配で留学することも勿論可能ですが、近年は留学紹介機関やエージェントを利用し、留学先を探したり、申し込みをする方が非常に多くなっています。認定校留学だけでなく語学留学をこちらで申し込む方もいます。

本学の留学相談室では、SAF（スタディー・アブロード・ファウンデーション）という留学を支援する非営利教育機関のアドバイザーが留学相談に応じ、そのまま大学選びや手続きまでサポートしてくれるため、非常にスムーズです。また、SAF以外の留学エージェントを利用することも勿論可能です。自分のニーズに併せて、エージェントを選んでみてはいかがでしょうか。

## SAF（スタディー・アブロード・ファウンデーション）とは

SAF (The Study Abroad Foundation)は、2000年にインディアナ州で創立された、アメリカのシカゴに本部を置く非営利教育機関です。

アジアの学生を欧米圏（一部アジア）の大学へ送り出すため、日本だけでなく、韓国・中国にも事務局を設けています。

駒澤大学はSAFと提携を結ぶメンバー大学であるため、学生が留学先を検討する際の一つの選択肢として、SAFを紹介しています。SAFとの提携により、IELTS™5.5点以上またはTOEFL iBT®61点以上（TOEFL ITP®500点以上）および希望する大学が求めるGPAを取得した学生は、英語圏の認定校留学が可能になりました。また、IELTS™5.0点またはTOEFL iBT®51点以上（TOEFL ITP®467点以上）でESL（English as a Second Language）から始めるプログラムにも認定校留学で参加することもできます。まずは語学力試験を受けましょう。SAFは、英語圏のみならず、ドイツ、フランス、スペイン、韓国などの非英語圏の大学も紹介しています。



## SAFで留学相談をする場合

駒澤大学の学生は、SAFが開催する学内外の留学説明会に参加したり、日本事務局での個別相談を無料で受けることができます。また、駒沢キャンパス1号館1階の留学相談室（国際センター窓口）でも相談が可能です。SAFでは、留学先の選び方、予算、将来の展望など、様々な観点から情報を提供し、出願までの手続きをサポートしていま



## SAFのおもな留学プログラム

- 学部授業履修プログラム（1学期または1年）⇒認定校留学の対象  
現地学生と共に学部の授業を履修します。出願には、各大学の定める英語力とGPAを満たしている必要があります。
- ※駒澤大学の認定校留学制度を利用する場合は、別途、認定校留学の申請書類を国際センター事務室に提出し、学部教授会で審議を受けなければなりません。
- 語学力強化プログラム ⇒学部履修ではないので、認定校留学の対象外となります  
SAFは「語学力強化プログラム」として、大学付属の語学学校で英語など、その国の言語を学ぶプログラムも提供しています。語学留学を検討している学生は、参考にしてください。

SAFの各種プログラムの詳細については、国際センター窓口（1号館1階）にて資料を入手してください。また、学内での留学説明会や、「海外研修・留学フェア」などでも、SAFのスタッフから説明を受けたり、直接相談をする機会があります。

## 留学相談室（1号館1階 国際センター窓口）を活用しよう！

左のページでもご紹介のとおり、SAFの留学経験豊富なスタッフが、駒沢キャンパス内の留学相談室にて、相談を承っています。事前予約をしての相談をお勧めします。

ご相談の際は、事前に予約をとられるとスムーズです。  
こちらのQRコードより、予約用ページに移動できます。



## 留学に関する参考リンク

### ■ 留学に関する奨学金など

- 文部科学省 トビタテ！留学JAPAN  
<https://tobitate.mext.go.jp/>
- 日本学生支援機構「海外留学奨学金パンフレット」  
<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>
- 日本学生支援機構「第二種奨学金（短期留学）」  
<https://www.komazawa-u.ac.jp/campuslife/scholarship/jasso/abroad/>

### ■ 国別の留学情報

- フルブライトジャパン（日米教育委員会）→アメリカ留学希望者向け  
<http://www.fulbright.jp/>
- プリティッシュ・カウンシル →イギリス留学希望者向け  
<http://www.britishcouncil.org/jp/japan.htm>
- オーストラリア政府教育情報センター →オーストラリア留学希望者向け  
<https://www.studyaustralia.gov.au/>
- フランス政府留学局 →フランス留学希望者向け  
<http://www.japon.campusfrance.org/ja>
- 在日カナダ大使館 →カナダ留学希望者向け  
<http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/>

### ■ 外国語外部試験情報（交換留学出願条件のもの）

- IELTS™（英検協会）<https://www.eiken.or.jp/ielts/>
- TOEFL®（ETS）<https://www.jp.ets.org/toefl.html>
- TOEIC®（IIBC）<https://www.iibc-global.org/toeic.html>
- フランス語検定（フランス語教育振興協会）<https://apefdapf.org/>
- 中国語検定（日本中国語検定協会）<http://www.chuken.gr.jp/>
- HSK（HSK日本実施委員会）<https://www.hskj.jp/>
- TOCFL（TOCFL日本事務局）<https://tocfl.jp/>
- 韓国語検定（韓国教育財団）<https://www.kref.or.jp/examination>
- ハングル能力検定（ハングル能力検定協会）<https://hanguel.or.jp/>

## ② 短期語学セミナーについて

本学では、夏と春の年に2回、協定校での約1か月間の短期語学セミナーを実施しています。留学の入門的コースで、1か月間ホームステイまたは大学寮に滞在しながら、外国人との交流を通して生きた語学を集中的に学習します。1か月の海外滞在経験は将来の大きな自信につながるはずです。

この語学セミナーを修了した方が、必要要件を満たした場合、卒業に必要な単位として、単位が認定される予定です。（医療健康科学部を除く。単位認定の詳細は各要項にてお知らせいたします。）本セミナーでは、TOEFL®等のスコアは必要ありませんが、応募者多数の場合は、選考をおこないます。

### ■制度概要

期 間	約1か月間
目 的	語学研修
形 態	協定校での短期語学研修。 寮に滞在したり、ホームステイをしながら、語学を学び、現地での実生活を体験する。
募集／申請	学内募集 (4月、10月)
学内選考	申込者数が定員を超えた場合 書類選考
留学先での授業料	自己負担（含参加費）
本学授業料	減免なし
その他費用	参加費 30万円～120万円程度
対象校	協定校 他
留学中の学籍	学籍に影響しない
単位認定	要件を満たした場合、卒業に必要な単位として認定されます（医療健康科学部・大学院を除く）。※GMS学部は「海外演習実践講座」により、所定の手続きを行う事で単位認定の対象となります。 ※本セミナーは履修登録科目ではないため、科目が認定されるまで各種証明書、KONECO成績照会画面に反映されません。進級・卒業見込にも反映されませんので参加の際は注意してください。
その他	本学指定の保険に加入すること



# 実施セミナー一覧

夏季語学セミナー						
	UBC	UCI	Ox Hert	UFC	IDSK	TKU
	ブリティッシュ・ コロンビア大学	カリフォルニア大学 アーバイン校	オックスフォード大学 ハートフォード・ カレッジ	フランシュコンテ 大学	マルティン・ルター 大学ハレ・ヴィッテ ンベルク	淡江大学
	英語セミナー	英語セミナー	英語セミナー	フランス語セミナー	ドイツ語セミナー	中国語セミナー
場所	カナダ ブリティッシュ・コ ロンビア州 バンクーバー市	アメリカ カリフォルニア州 アーバイン市	イギリス オックスフォード シャー オックスフォード	フランス ブルゴーニュ フランシュコンテ地域 ブザンソン	ドイツ ザクセン・ アンハルト州 ハレ・ヴィッテンベ ルグ	台湾 新北市 淡水区
期間	4週間 (8～9月)	4週間 (8～9月)	3週間 (8月)	4週間 (8～9月)	4週間 (8月)	3週間 (8月)
参加費	85～88万円	79万2千～ 82万3千円	108万6千～ 122万円	66万～ 75万8千円	52万7千円 ～84万円	31万7千 ～33万7千円
滞在形 態	ホームステイ	ホームステイ	大学寮	ホームステイ	ホームステイ	大学寮
定員	20人	30人	20人	15人	15人	15人
主な出 願条件	①健康で集団生活ができること					
	②学部生については、派遣期間中に実施される各「集中授業」や「追試験」の対象者でないこと					
	③休学中でない者					
注意 事項	応募者が各セミナーごとに定める最少催行人数を下回った場合は、手続き後であっても、開催中止となる事があります。また、上記参加費は申し込み人数によって変動します。詳細は別途、短期語学セミナー募集要項で確認してください。					
参加費 用の内 訳	<b>&lt;参加費用に含まれる経費&gt;</b> ①受講料 ②宿泊関係費用（プログラムに記載された食事）③海外旅行保険 ④旅程中の空港税、サービス料、チップ ⑤エコノミークラス航空運賃、バスなど旅程中の交通機関運賃（一部コースを除く） ⑥プログラム内アクティビティ					
	<b>&lt;参加費用に含まれない経費&gt;</b> ①渡航手続き関係書類諸費用（申請用印紙証書代、渡航手続き取扱料金等） ②滞在に伴う指定以外の食事、オプション・アクティビティ、通学時の交通費 <b>③燃油サーチャージ（コースにより異なります。燃油高騰のため、行先によっては10万円を超える場合もあります）</b>					
（参考額：カナダ 7万6千円、アメリカ7万6千円、イギリス8万8千円、フランス 8万1千円、ドイツ9万4千円、台湾 2万2千円） ※上記金額は2024年2月末時点での参考金額です。実際の徴収金額とは異なる場合があります。						

## 実施セミナー一覧

春季語学セミナー		
	GU	UA
	グリフィス大学	アルカラ大学
	英語セミナー	スペイン語セミナー（H.I.S主催）
場所	オーストラリア クィーンズランド州 ゴールドコースト市・ブリスベン市	スペイン マドリード州 アルカラ市
期間	約5週間 (2月～3月)	約3週間 (2月～3月)
参加費	72万5千円 R5参考 ※燃油代込み	57万円 R5参考
滞在形態	ホームステイ	大学寮
定員	30人	15人
主な出願条件	①健康で集団生活ができること	
	②学部生については、派遣期間中に実施される各「集中授業」や「追試験」の対象者でないこと	
	③休学中でない者	
注意事項	応募者が各セミナーごとに定める最少催行人数を下回った場合は、手続き後であっても、開催中止となる事があります。上記参加費は令和5年度の実績額です。実際の参加費は異なることがありますので、詳細は別途、短期語学セミナー募集要項（9月下旬～10月上旬頃発行）で確認してください。	
参加費用の内訳	<b>&lt;参加費用に含まれる経費&gt;</b> ①受講料 ②宿泊関係費用（プログラムに記載された食事）③海外旅行保険 ④旅程中の空港税、サービス料、チップ ⑤エコノミークラス航空運賃、バスなど旅程中の交通機関運賃 ⑥プログラム内アクティビティ	
	<b>&lt;参加費用に含まれない経費&gt;</b> ①渡航手続き関係書類諸費用（申請用印紙証書代、渡航手続き取扱料金等） ②滞在に伴う指定以外の食事、オプション・アクティビティ、通学時の交通費	
	<b>③燃油サーチャージ（コースにより異なります。燃油高騰のため、行先によっては10万円を超える場合もあります）</b>	

■メモ欄

A large, empty rectangular box with a double-line border, occupying most of the page below the header. It is intended for a memo or note.

### ③ その他の留学について

#### 語学留学（語学学校への留学）

単位の修得を目的とせず、海外の大学・専門学校・語学学校などで自主的に語学を学習する留学です。留学にあたり、英語力等は問わない場合が多いですが、留学前後の力を測るためにも、TOEFL®やTOEIC®などの語学検定試験を受験することをお勧めします。

また、単位取得を目的とする正規留学とは異なるため、駒澤大学の授業期間と被る時期に留学をする場合は、休学しての留学となります。休学にあたっての手続きや、学費の詳細については、教務部学籍係（03-3418-9121）にてご確認ください。休学をすることで、4年間での卒業は難しくなるため、計画的な履修や、卒業後の進路なども考えて準備する必要があります。GMS学部は学部独自の制度により、休学せずに留学できる場合があるので、事前に学部へお問合せください。

#### ■ 制度概要

期 間	任意
目 的	語学研修
形 態	現地の語学学校に通う留学。 留学先の決定から申請、諸手続き等にいたるまでを、すべて学生本人がおこなう。
申請	留学先が決定した後、 所定の申請をする。
学内選考	なし
留学先での 授業料	自己負担
本学授業料	休学者の学費に準ずる
その他費用	授業料・滞在費等 200万円～（※1年間の場合）
対象校	任 意
留学中の学籍	休学となるため、 所定の手続きが必要
単位認定	単位認定制度なし
継続履修	不可
その他	特になし

## 過年度留学生の体験談について

交換留学・認定校留学に派遣された先輩方の体験談は、国際センターHPからご覧いただけます。ページ下部のQRコードから是非ご覧ください。本ページに一部抜粋を掲載します。

アメリカ・アーカンソー工芸大学 派遣交換留学生 留学体験談抜粋

### 【留学先での学びについて】

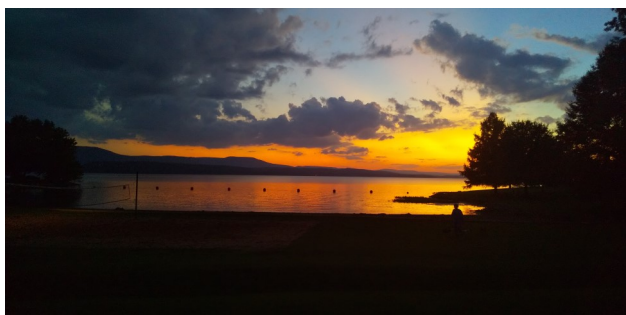
心理学や社会学、人類学の授業では社会が人にどう影響するのか、文化的な意識が形成される流れなどについて学びました。またホスピタリティー学部の専門科目として、EventManagementというどのようにイベントを計画し開催するかを学んだり、トラブルが発生した際にどう対処するかなどについて授業を受けました。グループで実際にイベントを計画してみたり、ホスピタリティー業界で活躍されている方がゲスト講師として講義をしてくださることも何度かありました。学内外で開催されるイベントにウェイターやスタッフとして呼ばれることもあり、授業で学ぶだけでなく、得た知識を活かせる機会も多くありました。さらに最初の学期は英語力をのぼすため、ライティングとリーディングのクラスに参加し、英語での正しいエッセイの書き方や単語の成り立ちといった基礎から、初めて知った英単語をいくつか使って物語を作るといった応用まで授業で勉強しました。

### 【留学を経て気づいたことや、今後の目標など】

その場で知識を自分のものにする、**「なぜ」**を考えることがいかに大切かを痛感しました。最初は授業内で意見を聞かれても何も言えず、学んだことを自分の言葉で説明できなくてかなり大変でした。教授の言ったことに疑問をもったり、日常生活ではどういう様子をさすことなのか等を考えながら聞けるようになってからは授業内に自分の意見を述べることに對する恐怖心は薄くなりました。さらにその頃から友人と話していても会話が聞く一方でなくなり、深くまで掘り下げながら話をすることができるようになりました。今後も英語をコミュニケーションのツールとし、聞くことや学ぶことの一步先まで意識することを続け、沢山の事を吸収していきたいと思います。

### 【留学を志す皆さんへメッセージ】

現地で出会った方々はいつでも快く助けてくださる人達ばかりでした。どこか行きたい所はないか、必要なものはないか、何か悩んでいないかなどいつも気にかけてくださって、そのような方々と出会うことができたことは、留学を通じて得ることができた素敵なものの1つです。留学をすることは不安な点も多く、一筋縄ではいかないことも多いですが、かけがえのない経験をできる、自分の世界が変わるかもしれない機会です。もし留学を考えている方がいたら是非、1人でも多くの方に同じような経験をさせていただきたいです。



[更に体験談を読みたい方はこちらから](#)



## 2. 留学のための準備として

### 1. 語学力を磨こう！

交換留学・認定校留学といった正規留学は、希望する大学の語学基準をクリアすることが必要不可欠です。留学を志す方は、早い段階から語学力を強化すべく、対策をとることをお勧めします。留学時には、TOEFLiBT® や IELTS™のスコアの提示を求められることが多くなっています。試験ごとに傾向や対策も異なりますので、各種講座等を活用しながら、自分にあった試験を見つけ、傾向にあった対策を進めることが必要です。本学でも、各種試験対策講座を開講していますので、興味のある方はぜひチェックしてみてください。

\* 本学で実施している講座の詳細について

駒大生の本棚（KOMAShelf）をご確認ください。  
本誌のP25～26にも詳細を掲載しています。



### 2. 大学の授業もしっかりこなそう！

留学というと、語学力の部分に気を取られがちですが、交換留学・認定校留学に出願するためには、大学の成績（GPA）が一定基準を満たしていることが必要です。留学を志したときには、既に遅かった、という声もよく聞かれます。バランスよく勉強を進めていくことも、留学を目指す上で非常に大切になってきます。

\* GPAとは?? 駒澤大学で履修した科目の成績の合計値の平均値のようなもの。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{S 修得単位数} \times 4.0) + (\text{A 修得単位数} \times 3.0) + (\text{B 修得単位数} \times 2.0) + (\text{C 修得単位数} \times 1.0)}{\text{履修登録した科目の総単位数 (F・空欄は含むがTは含まない)}}$$

正規留学に出願する場合の最低ラインは「2.5」である場合が多く、留学に関わる奨学金の受給なども、GPAが採用要件となっている場合が多いです。  
目安として、全科目の半分がA、半分がB程度に相当します。

履修したもののテストを受けずに諦めてしまうと、GPAが下がる元となります。合わないと感じた授業は、履修放棄期間中に所定の手続きをすることをお勧めします。

### 3. 留学の目的を考え、計画を練ろう！

ひと口に留学、といっても、学部履修をするものから、語学留学まで、様々な種類があります。自分が留学で何をしたいのか、しっかり考え、その実現に少しでも近い留学方法を選ぶことが大切です。また、目的が定まれば、その目的を達成するために、どんな学校を選ばばいいのかも自ずと決まってきます。また、留学は長期的な計画を立てることになるため、留学の希望がある方はできるだけ早く、計画を立てるようにしてください。

＊履修計画を早い段階から綿密にたてることが大切

留学のタイミング（春派遣か秋派遣か）によって、留学できる大学が異なります。自分が行きたい大学は、いつ派遣されることになるのかを確認した上で、履修を組むようにしましょう。

また、卒業論文が必修の学部は、留学のタイミングによっては卒業が遅れる可能性がありますので、早いうちから履修の流れを確認しておきましょう。また、演習なども、事前に担当教員への相談が必要となる場合があります。課程履修者の方も注意が必要です。詳細を出願前に、必ず教務部⑦窓口（教務1係：03-3418-9119）で確認してください。

### 4. 積極的に情報を集めよう！

特に認定校留学を希望する場合は、自力で大学探しをするのはなかなか大変です。エージェント選びから、早めに行く必要があります。また、エージェントだけではなく、自分で留学先の情報、留学準備に必要な情報を積極的に得ていく姿勢が必要です。過年度派遣された先輩の体験談など、国際センターでお手伝いできるものも沢山ありますし、ご自分で色々な説明会や、留学経験者の方とコミュニケーションをとれる場に参加することも良い刺激になります。







本学では留学を志す方は、勿論、英語力を挙げたい在学生向けに様々な取り組みを実施しています。学内の機会を上手く活用し、留学のための準備を進めていきましょう。

## 2. 各種語学力アップのための学内講座について（KUサポート）

### 「毎日学べる英会話」（課外講座）

英語を使って人前で話したり、電話で英語を使って会話をする場合には、英語力だけでは不十分です。英語を使った対話・コミュニケーション能力を獲得するためには、できるだけ英語で話すチャンスを自分で作ることが大切ですが、日常生活の中で英語を話す機会は、それほど多くはないはず。本学では、毎日英語に触れられる環境づくりの一つとして、「毎日学べる英会話」を開講しています。なお、本課外講座の企画・運営は、駒澤大学事業会社の㈱KUサポートがおこないます。

授業期間中に、毎日40分、前期50回・後期50回合計100回の対話型レッスンを通して「英会話力」を身につけます。実際に英語を使うシーンを想定したレッスンをおこなうため、様々な場面に対応できるコミュニケーション能力を身につけることができます。

### TOEIC®L&R 対策講座

多くの企業、官公庁等が、従業員や職員の英語力をはかる基準としてTOEIC®テストを採用しています。現在では、採用時にも一定のTOEIC®のスコアを求める企業が増加しており、就職活動のためにスコアアップに努めることが大事です。本講座では、スコアアップのためのコツや、問題を解く上でのポイントなどをわかりやすく解説します。英語のレベルにより、500点突破コース・650点突破コースに分けて実施します。

期間： 通年

【内容】 TOEIC®L&Rで必要とされる、英文を正しく理解する技能を向上させる練習をおこないます。講師は、試験問題の傾向を熟知した日本人講師です。試験対策のための知識習得と、英語の音に慣れることで、相乗的にスコアアップへつなげます。TOEIC®L&R IPテスト1回分が含まれます。

### 韓国語対策講座

K-popや、韓流ドラマ、韓国文化や旅行、ビジネスなど、近い方とのコミュニケーションを楽しみましょう♪

韓国語の講師経験が豊富な女性講師が担当。韓国ソウル出身で、歌やジャズダンスが趣味。楽しく韓国語が身につく授業を心がけています。（予告なく講師が変更となる可能性がございます）

期間： 前期・後期 それぞれで募集

【内容】 毎週火曜日実施予定。90分×9回

\*最新の情報は、駒大生の本棚（KomaShelf）をご覧ください。  
右のQRコードからアクセスできます。

\*別途、留学相談室主催の、英語勉強法セミナーなども開催予定です。  
決定し次第、HP・KONECO等にてお知らせいたします。



## TOEFL®iBT & IELTS™対策講座

英語圏へ留学するためには、各大学が求めるTOEFL®iBTやIELTS™のスコアを取得することが必須です。本講座はTOEFL®iBT、IELTS™専任講師が行う対策講座であり、海外留学を考えている方には特にお勧めします。

期間： 通年

【TOEFL®iBT 対策講座 詳細】

日本人のTOEFL専任講師が担当し、週2回×20回と集中して講座に取り組みます。テキストは、TOEFL公式教材を使用し、実践に近い形で、留学に向けた語学力向上+目標スコア到達を目指します。TOEFL ITPテスト1回分が含まれます。

【IELTS™ 対策講座 詳細】

IELTSを熟知した講師が、初心者にも分かり易い丁寧な指導にて、週2回×20回と集中して講座に取り組みます。頻出単語を学びIELTSの解き方やポイントを身に付け、留学に向けた語学力向上+目標スコア到達を目指します。

TOEFL講座先着20名・IELTS講座先着15名の方に、受講料17,000円補助があります。  
※本補助制度は、父母の会である「駒澤大学教育後援会」の支援により実施しています。



### 3. 学内試験について (KUサポート)

#### TOEFL ITP®テスト (学内団体受験) オンラインのみ

TOEFL®とは、“Test of English as a Foreign Language”の略で、英語を母国語としない人の英語力を判断するための試験です。TOEFL®テストのスコアは世界で通用し、留学時の入学の条件としても大学ごとの基準点が定められています。なお、海外の大学へ留学するために必要なスコアは、おおむねTOEFL iBT® (Internet Based Test, 左枠内参照) 61点以上です。学内で実施するITPテスト (Institutional Testing Program) とは、団体向けのテストプログラムで、スコアの有効性がないため、基本的には留学の出願要件としては利用できませんが、問題は、過去のTOEFL PBT® (Paper Based Test) で出題されたものを再構成したもので、TOEFL iBT®テストのスコアと高い相関関係があるため、TOEFL iBT®受験前に、このITPテストにチャレンジすることをおすすめします。

#### TOEIC® L&R IPテスト (学内団体受験) マークシート形式orオンライン

TOEIC®とは、“Test of English for International Communications”の略で、ビジネスなどの場面を想定し、英語でのコミュニケーション能力を判定するテストです。

学内で実施するIPテストは、本学が団体受験特別制度 (IP: Institutional Program) を利用し、おこなうものです。公開テストとIPテストのテスト結果 (スコア) の有効性は同一です。グローバル化が進む現在、各企業が社員に求める能力として、「英語力」の比重は高くなってきており、採用時だけでなく就職後も昇進時の評価指標として、TOEIC®のスコアを利用する場面が増えてきました。基本的に、留学の出願要件としては利用できませんが、就職活動や、自身のスキルアップのために受検をする方が増えています。

本ページに掲載の各種講座・サービスについてのお問合せは、本学の事業会社である、KUサポートまでお問合せください。KUサポートの実施する各種講座のご案内は、以下のQRコード (KOMAShelf)にてご確認いただけます。「駒大生の本棚」>「学生生活サポート」をご参照ください。



## 4. その他国際交流活動（学内・学外）

その他、学内でおこなっている国際交流イベントについて紹介します。  
実施概要は、KONECOや大学HP等にも掲載していく予定です。

### 来日プログラムKOMSTUDY

駒澤大学では、6月下旬から約3週間、協定校からの留学生を迎えて、日本語・日本文化講義をおこなっています。学生はホームステイでの滞在を行いながら、日本語を学習したり、坐禅、茶道、空手、書道などを体験します。

留学生たちの来日中の授業や生活のサポートをするボランティアを、例年募集しております。

KOMSTUDYでは、学生ボランティアスタッフを4月に募集します。興味のある方はKONECO・HP等で情報をご確認ください。

### グローバルサロン・ランチDE英会話

国際センターでは、学内で気軽に参加できるさまざまな国際交流イベントを実施しています。

＊様々な国からの交換留学生との交流を楽しむ  
“グローバルサロン”

月に1～2回を目安に、定期的を開催をしています。異文化を知るだけでなく、交換留学生と仲良くなる良いきっかけにもなっています。

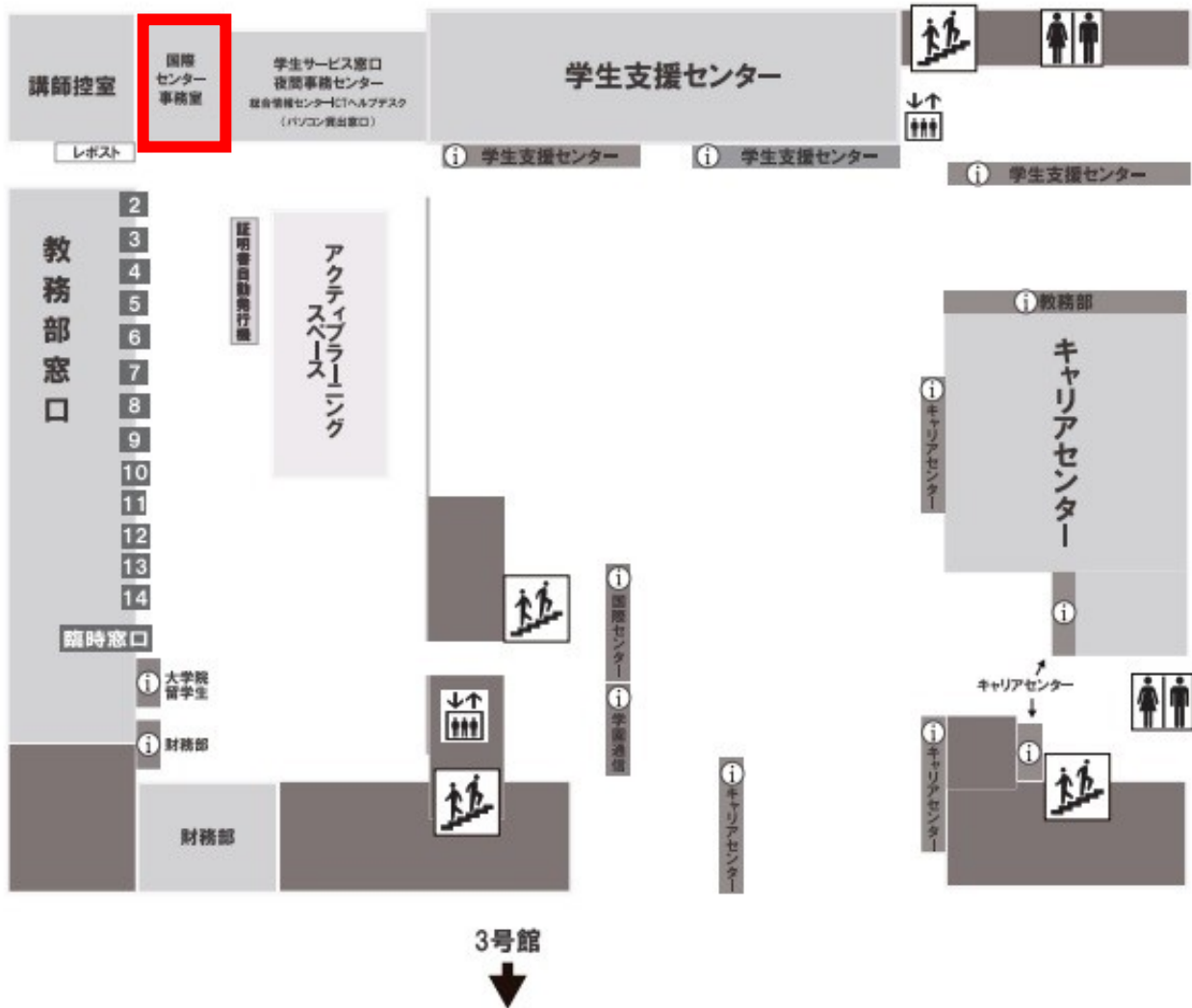
上記以外に、世田谷区と協働して行う“せたがや国際化プロジェクト”や、“ピックアップせたがや”といった、地域の国際化に関する取り組みにも積極的に参加しています。

国際センター事務室で色々なイベントをご紹介しますので、お気軽にお越しください。

各種イベントのお知らせについては、国際センターHPおよび、KONECO等に掲載いたします。  
随時更新しますので、興味のある方はぜひこまめにご確認ください。



# 問い合わせ先



2024年3月より国際センター事務室・留学相談室は駒沢キャンパス1号館1Fに移転しました

駒澤大学 国際センター事務室 / 留学相談室

駒沢キャンパス 1号館 1F TEL : (03) 3418-9196

<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

E-mail : [kokusaicenter@komazawa-u.ac.jp](mailto:kokusaicenter@komazawa-u.ac.jp)